

## 広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	腹腔内アプローチによる腹腔鏡下超低位前方切除の限界、最近の手技と成績
研究責任者 (所属科名)	広島市立広島市民病院 外科 部長 吉満 政義 (当院責任者：外科 部長 下村学)
本研究の目的・意義	肛門近傍の下部直腸がんに対して、直腸切除、吻合を行う腹腔鏡下超低位前方切除(いわゆる肛門管吻合)に対する最近の手技と成績を検討する。
調査方法・調査期間	2018年1月～2020年2月に Powered Echelon Black 45 による計画的2回切離(吻合は CDH25)を行った腹腔鏡下超低位前方切除 22 例を対象とします。研究期間は 2021 年 3 月末日までを予定しています。
該当資料・データ	当院電子カルテデータより以下の情報を収集します。 性別、年齢、cStage、ASA-PS、術前、術式、手術時間、出血、pStage、術後在院日数、Clavien-Dindo 分類 Grade III 以上の術後合併症など。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報 は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	安佐市民病院 外科 下村 学 082-815-5211
備考	